

699. パラホルムアルデヒド

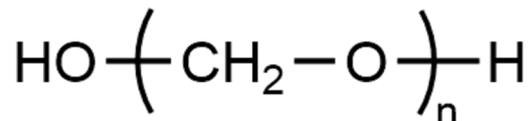
別 名：ポリ(オキシメチレン)、ポリアセタール

管 理 番 号：699

PRTR 政令番号：1-364 （化管法施行令（2021 年 10 月 20 日公布）の政令番号）

CAS 登録番号：30525-89-4

構 造 式：



性 状：白色の固体 刺激臭

- ・パラホルムアルデヒドは、尿素樹脂・メラミン樹脂の原料、ビニロン繊維アセタール化用、医薬品、有機合成薬品等に用いられています。
- ・排出及び移動に関する概要については、PRTR データの公表（2024 年度末）後に記載します。

■用途

パラホルムアルデヒドは、尿素樹脂・メラミン樹脂の原料、ビニロン繊維アセタール化用、医薬品、有機合成薬品等に用いられています。

■排出・移動

化学物質排出把握管理促進法（化管法）改正後の PRTR データの公表（2024 年度末）後に記載を行う予定です。

■環境中での動き

水中に排出されたパラホルムアルデヒドは、加水分解によってホルムアルデヒドを生成することが報告されています¹⁾。

■PRTR 対象物質選定の根拠(有害性)

変異原性 パラホルムアルデヒドは、Ames 試験（復帰突然変異試験、TA100 株（S9+、代謝活性化あり））の比活性値が 12600 rev/mg と報告されています²⁾。また、ほ乳類培養細胞（CHL 細胞）を用いる染色体異常試験で陽性を示したとの報告があります²⁾。

■人健康

2022 年 3 月時点では、わが国ではパラホルムアルデヒドの環境中へ排出後の人の健康に関する

リスク評価は行われていません。

■生態(有害性・リスク評価)

2022 年 3 月時点では、わが国では水生生物に対する信頼できる PNEC (予測無影響濃度) は算定されていません。

生産量等	国内生産量 (2019 年) : 公表データなし		
排出・移動量 (PRTR データ)	化管法改正後の PRTR データの公表 (2024 年度末) 後に記載を行う予定です。		
PRTR 対象物質選定 (2021 年 10 月改正政令) の根拠 (以下の欄に「○」または根拠を記載)			
有害性	変異原性		
排出量等 (2014 ~ 2017 の平均)	PRTR 排出量	PRTR 移動量	推計排出量 または 製造・輸入数量
			○
環境モニタリング結果 (2008~2017)	複数地域検出 ^{※1}	※1:「御利用にあたって」に記載の該当調査で 2008~2017 年の期間に複数地域で検出された場合に選定根拠とします。	
環境保全施策上必要な物質 (法令等)			
環境データ ^{※2} (~2022.3 公表 時点の最新)	—		
適用法令等 (2022 年 10 月 時点)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 化学物質排出把握管理促進法 (化管法) : 第一種指定化学物質 ・ <u>化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律 (化審法)</u> : 既存化学物質 ・ <u>GHS 分類結果</u> ^{3)※3} <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">  <p>可燃性固体</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>急性毒性 (経口・吸入: 粉塵、ミスト)、 皮膚腐食性/ 刺激性、 眼に対する重篤 な損傷性/眼刺 激性</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>特定標的 臓器毒性 (単回暴露)</p> </div> </div>		

※2: 環境データについては、PRTR 選定根拠に用いたデータと必ずしも一致しないことがあります。詳細は、「御利用にあたって」をご確認ください。

※3: 2017 年までの GHS 分類結果は、対象物質選定根拠のひとつとして考慮されますが、必ずしも化管法対象物質の選定根拠になっていないことがあります。(該当する危険有害性について ピクトグラム を示します)

■ 引用・参考文献

- 1) 厚生労働省「職場のあんぜんサイト」安全データシート
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen/gmsds/0962.html>
- 2) 厚生労働省「職場のあんぜんサイト 変異原性試験(エームス・染色体異常)結果」ポリ(オキシメチレン)Poly(oxymethylene)
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/pdf/B/B9002-81-7.pdf> (エームス試験)
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/user/anzen/kag/pdf/C/C9002-81-7.pdf> (染色体異常試験)
- 3) NITE 統合版 政府による GHS 分類結果
<https://www.nite.go.jp/chem/ghs/m-nite-30525-89-4.html>

■ 性状・用途に関する参考文献

- ・(株)化学工業日報社『17221 の化学商品』(2021 年 1 月発行)
- ・厚生労働省「職場のあんぜんサイト」安全データシート
<https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen/gmsds/0962.html>

■ 改訂履歴

版数	発行日	改訂内容
第 1 版	2023 年 3 月 9 日	初版発行
第 1.1 版	2025 年 3 月 24 日	用途修正(食品衛生法記述について正確性が不十分のため一律削除とした)